

2009 年 5 月 29 日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2006 年度～2008 年度
 課題番号：18580216
 研究課題名（和文） 植民地朝鮮における農業学校と地域社会
 - 裡里農林学校を中心に -
 研究課題名（英文） Agricultural Schools and Regional Societies in Colonial Korea

研究代表者
 氏名（アルファベット） 松本武祝（Matsumoto Takenori）
 所属機関・所属部局名・職名 東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授
 研究者番号 40202329

研究成果の概要：

植民地朝鮮を代表する米穀穀倉地帯であり、日本人大地主の集中地域であった全羅北道益山郡に設立された裡里農林学校に関する資料収集（刊行資料および日本人卒業生へのアンケート調査）をおこない、設立に至った経緯や日本人卒業生に履歴についての分析を行なった。関連して、初等教育（普通学校）における農業に関する卒業生指導に関する研究を行なった。

交付額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2006 年度	1,500,000	0	1,500,000
2007 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2008 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
総計	3,500,000	600,000	4,100,000

研究分野：

科研費の分科・細目：農業経済学・農業経済学
 キーワード：植民地朝鮮、農業教育、農業学校

1．研究開始当初の背景

植民地朝鮮全羅北道の農業・水利状況に関する研究を長年行なってきた。裡里農業学校出身者が解放後地域で活躍していることから、この学校の設立と運営に関心を持った

2．研究の目的

裡里農林学校の設立過程、運営実態（朝鮮人・日本人の待遇）および卒業生の進路について分析を行なう。

3．研究の方法

現在残されている刊行資料を収集し、また、卒業生に対する郵送によるアンケート調査を実施して資料収集をおこなった。

4．研究成果

裡里農林学校卒業生の進路を分析して、学会報告を行なった。農業教育と関連して、植民地朝鮮における「近代性」に関して論文執筆及び学会報告を行なった。

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 2 件)

松本武祝「戦時期朝鮮における朝鮮人地方行政職員の『対日協力』」倉沢ほか編『岩波講座アジア・太平洋戦争 7 支配と暴力』(岩波書店) 2006、pp.221-248

松本武祝「植民地朝鮮における衛生・医療制度の改編と朝鮮人社会の反応」『歴史学研究』第 834 号、2007 年、pp.5-15

[学会発表](計 3 件)

松本武祝「植民地朝鮮における農業学校と地域社会 - 裡里農林学校を中心に - 」国際研究集会 2007 九州大学ワークショップ第 部(九州大学韓国研究センター、2007/12/16)

松本武祝「朝鮮における「植民地近代」分析のための視点 - 医療衛生を素材として」韓国東北アジア歴史財団主催国際学術会議 < 東アジアの知識交流と歴史記憶 > (ソウル、2008/12/5)

松本武祝「最近の「朝鮮植民地近代」論について - 日本における研究史をふまえて」(韓国語) 延世大学国学研究院 60 周年記念国際学術会議 (ソウル、2008/12/18)

[図書](計 0 件)

[産業財産権]

出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

[その他]

特になし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

松本武祝 (Matsumoto Takenori)
東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授
研究者番号: 40202329

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

なし